

千川中学校の建替えに関する区長提言について

1 「千川中学校の建替え等を考える会」について

(1) 目的

千川中学校の建替え等を考える会は、令和2年7月に設立。建替えに向けて、「教育内容・方法の多様化に応じた学校施設づくり」、「地域の実情に応じた学校施設づくり」等の様々な条件を整理し、設計前の基本的な考え方をまとめることを目的としている。

(2) 構成メンバー

P T A、町会、同窓会、学校開放運営委員会、地域の青少年育成委員会、学校、区、教育委員会から代表者を選出。23名で構成。

(3) 検討期間

令和2年7月～令和3年11月 ※通常は1年間、途中コロナで休止

(4) 検討経過

勉強会や視察、アンケートやワークショップなど、9回の検討会実施。
令和3年10月26日、提言書（案）に関する地域説明会実施。

2 千川中学校建替えに関する区長提言について

(1) 実施概要

令和3年12月6日（月）16時より 区役所8階レクチャールーム
区長・教育長／考える会委員13名（資料1のとおり）

(2) 提言書概要（資料2のとおり）

(3) 提言書抜粋（資料3のとおり）

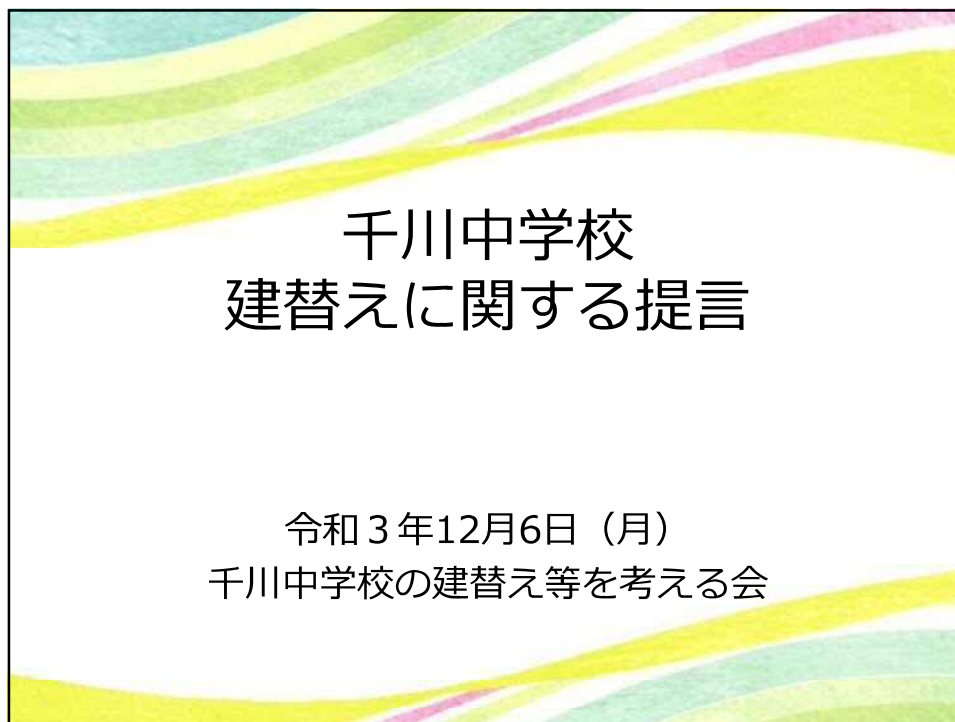
3 今後の予定

令和3年12月	基本構想・基本計画策定
令和4年1月～3月	設計業者プロポーザル実施
令和4年4月～令和6年3月	基本設計・実施設計
令和3年11月～令和6年3月	仮校舎改修設計・工事
令和6年4月	仮校舎へ移転
令和6年4月～	改築工事開始
令和8年8月	竣工

資料 1

令和3年12月6日（月）区長提言の様子





千川中学校の建替え等を考える会について

目的

- ・教育内容方法の多様化に応じた学校施設づくり
- ・地域の実情に応じた学校施設づくり

構成メンバー



これまでの活動

1 勉強会

- ・日程 令和2年11月13日
ながさわ さとる
- ・講師 長澤 悟 氏
東洋大学名誉教授
教育環境研究所理事長
- ・講演
未来の学校づくりについて



2 巣鴨北中学校視察



▲学習情報センター（図書室）



▲普通教室前のオープンスペース

これまでの活動

3 アンケート調査の実施

- ・期間 令和2年11月末～12月25日
- ・対象 千川中学校の生徒・保護者・教職員・高松小・
要小の児童・学区域内の地域の方
- ・回答率 58%（合計）

回答の概要(抜粋)

設問内容	回答例
新校舎にほしいもの	広い校庭、広い教室、 体育館に冷暖房 など
新校舎で重視して ほしい点	学習の場、運動の場、 安全・安心、緑化 など
自由意見	敷地を有効活用してほしい、 地域に開かれた学校にしてほしいなど

これまでの活動

4 ワークショップ

令和3年3月～8月

- ①学校への想いを語ろう
- ②目指したい学校の風景
- ③目指したい学校の風景2
- ④大切にしたいこと



5 地域説明会

- ・日程 令和3年10月26日
- ・参加者 来場者13名
委員21名



さまざまな形で
検討を行いました

建替えコンセプト～私たちの想い～

**都市の文化と歴史に包まれて、
楽しく学び、仲間と集い、
地域と共に歩んでいく千川中学校**

基本方針～こんな学校にしたい～

1 生徒たちの楽しい居場所となる学校

2 千川中学校らしさが現れた学校

3 地域交流が生まれる学校

4 地域の防災拠点となる学校

1 生徒たちの楽しい居場所となる学校

①時代に沿った学習環境

- ・ ICT環境の整備
- ・ 多様性を尊重した学びの場

②心身の成長を育む空間

- ・ 快適に過ごせる生活環境
- ・ 新しい生活様式に対応した学校

③のびのびと活動できる体育施設

- ・ 広い校庭
- ・ 開放感があり運動をしやすい体育施設

2

千川中学校らしさが現れた学校

①地域のシンボルとなる学校

- ・千川中の「タイサンボク」を大切に
- ・四季の移ろいが感じられる自然環境

②地域の歴史を反映

- ・地域の歴史や景観を受け継いでいることを感じられる学校



▲タイサンボク

3

地域交流が生まれる学校

①伝統的・文化的な活動の場

- ・文化的活動の発表の場
- ・地域のお祭りやイベントが開催できる校庭

②地域に開放できる多様な施設

- ・施設の動線を工夫
- ・学校開放に対応する設備
- ・高容積が可能な地域・地区特性を利用して校舎全体を有効活用
- ・多様な施設になる場合は生徒の学習環境に配慮しつつ相乗効果が望めるもの



▲地域のお祭り

4 地域の防災拠点となる学校

①施設の安全性の確保

- ・防犯設備、防災機能を万全とする
- ・構造・設備とも災害に強い
- ・安全な避難経路を有する学校

②災害用設備の充実

- ・災害時に活用できる設備を整備
- ・地域の防災拠点としての機能を確保

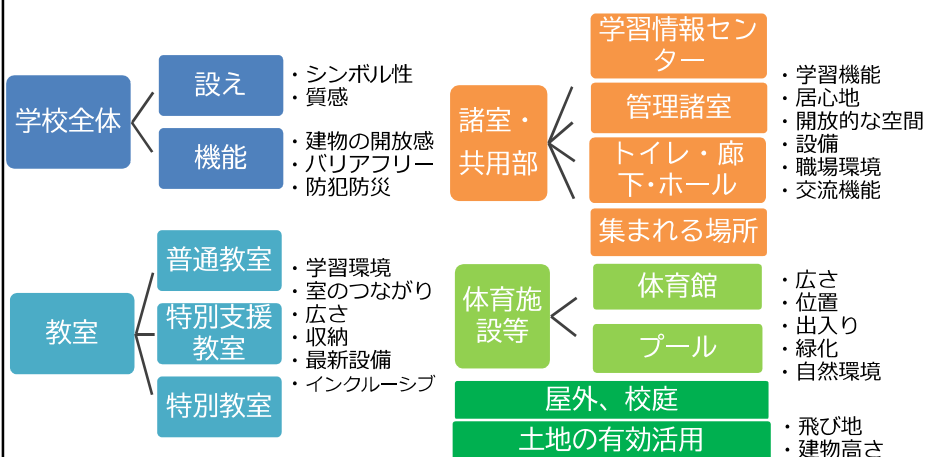


▲D級ポンプ

③避難生活に対応できる機能の確保

- ・多様な避難者のため福祉やバリアフリーに配慮

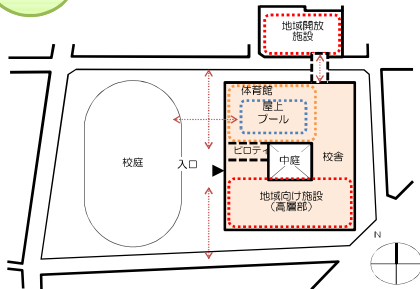
整備方針～こんな風につくりたい～



施設配置の検討

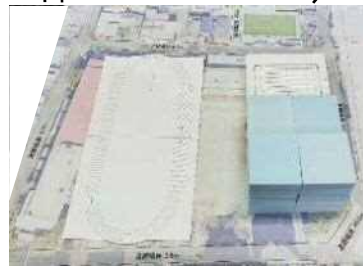
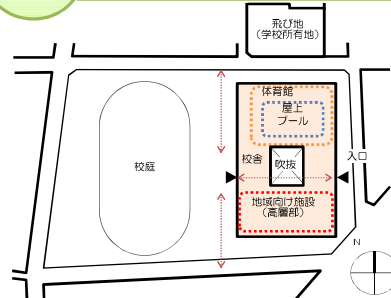
A

箱型案



B

箱型高層案



施設配置の検討

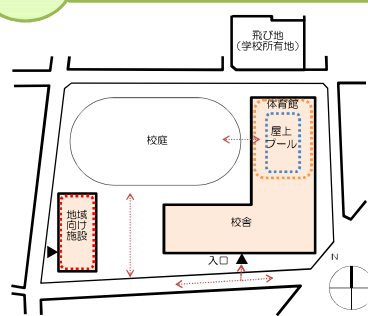
C

L型案



D

L型分散案



新校舎開校までの流れ

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
考える会	検討・ 区長 提言					
区の計画	基本 計画 策定	基本 設計	実施 設計			

●● 千川中学校 建替え
●● 基本構想に関する提言書

都市の文化と歴史に包まれ、
楽しく学び仲間と集い、
地域と共に歩んでいこう
千川中学校



目次

はじめに.....	1
1. 千川中学校の現況	2
(1) 位置	2
(2) 地域・地区.....	2
(3) 学校施設の現況.....	3
2. 建替えに係る条件等の整理	6
(1) 建替えスケジュール	6
(2) 生徒数と学級数.....	6
(3) 学校の教育目標と機能.....	7
(4) 地域の特徴.....	8
3. 建替え基本構想に係る提言	9
(1) コンセプト ～私たちの想い～	9
(2) 基本方針 ～こんな学校にしたい～	10
(3) 整備方針 ～こんな風につくりたい～.....	12
(4) 配置計画の検討.....	14
資料編	19
1. 豊島区教育ビジョン2019(抜粋)	19
2. 「千川中学校の建替え等を考える会」の活動記録.....	20
3. 千川中学校の建替え等に関するアンケート調査の実施.....	21
(1) アンケート調査の概要.....	21
(2) アンケート調査の結果.....	22
4. ワークショップの内容.....	32
(1) テーマ：学校への想いを語ろう	32
(2) テーマ：めざしたい学校の風景.....	35
(3) テーマ：めざしたい学校の風景2	45
(4) テーマ：提言書(案) ～大切にしたいこと～	51
5. 千川中学校の改築に向けた参考意見について	52
6. 「千川中学校の建替え等を考える会」会則.....	53
7. 「千川中学校の建替え等を考える会」委員名簿.....	54



はじめに

私たち「千川中学校の建替え等を考える会（以下、考える会）」は、千川中学校（以下、千川中）、千川中のPTA、周辺小学校（高松小、要小）のPTA、同窓会、町会、地域の青少年育成委員会、開放運営委員会、豊島区によって構成される組織です。

令和2年7月に会を設立して以来、検討会、学校建築に関する勉強会、区内の学校見学、ワークショップ等を実施し、建替えに関する知識・理解を深めてきました。また、提言書策定の参考とするため、千川中の生徒・保護者・教職員、学区域の周辺小学校（高松小、要小）PTA や5～6年生児童、地域の方々を対象としたアンケート調査や地域説明会を行ない、様々な意見を集約・整理してきました。

そしてこの度、考える会の中で出された提案、地域の皆さまからいただいた意見を反映させた提言書がまとまりましたので、本書のとおり提言します。

今後、建替えによって千川中が「学びの場」「生活の場」「地域の拠点」として整備され、地域に安全・安心を与え、世代を超えて愛される学校になることを願っています。

千川中学校の建替え等を考える会

考える会は、次の4つのことに取り組んでいきます。

- ① 学校施設づくりに必要な調査・研究を行うこと。
- ② 学校改築の基本構想をまとめ、豊島区教育委員会並びに豊島区長に提言すること。
- ③ 学校改築の基本構想の実現に向けた活動を推進すること。
- ④ その他、学校施設づくりに関すること。

先進事例 の見学

どんな中学校をつくりたいか、より具体的なイメージを持つために、先進的な学校を見学します。

勉強会の実施

勉強会を実施し、構想案づくりの参考とします。

アンケート調査 の実施

現在の生徒、保護者、千川中に進学予定の児童、地域の皆さんの「思い」が反映できるよう、アンケート調査を実施します。

具体的な取り組み内容

広報活動の実施

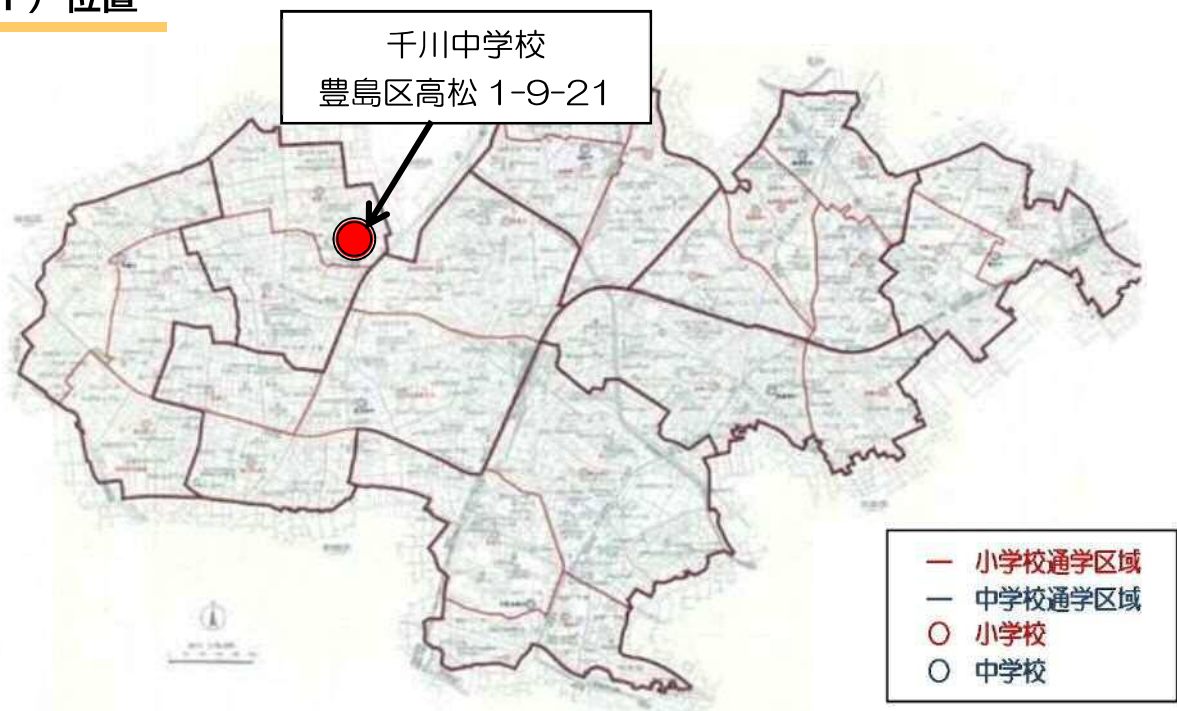
考える会ニュースや豊島区教育委員会ホームページで、考える会の取り組み内容を随時お知らせします。

ワークショップの 実施

コンセプトづくり、施設計画の検討、建物配置等を、ワークショップ形式で検討します。

1. 千川中学校の現況

(1) 位置



(2) 地域・地区

用途地域	第一種住居地域	商業地域		
建ぺい率	60%	80%		
容積率	300%	500%		
防火地域	準防火地域	防火地域		
高度地区	第3種高度地区	なし		
日影規制	規制される日影時間		なし	
	敷地境界線からの範囲			測定水平面
	5~10m	10m超		
	5時間	3時間		4m

<用途地域図>



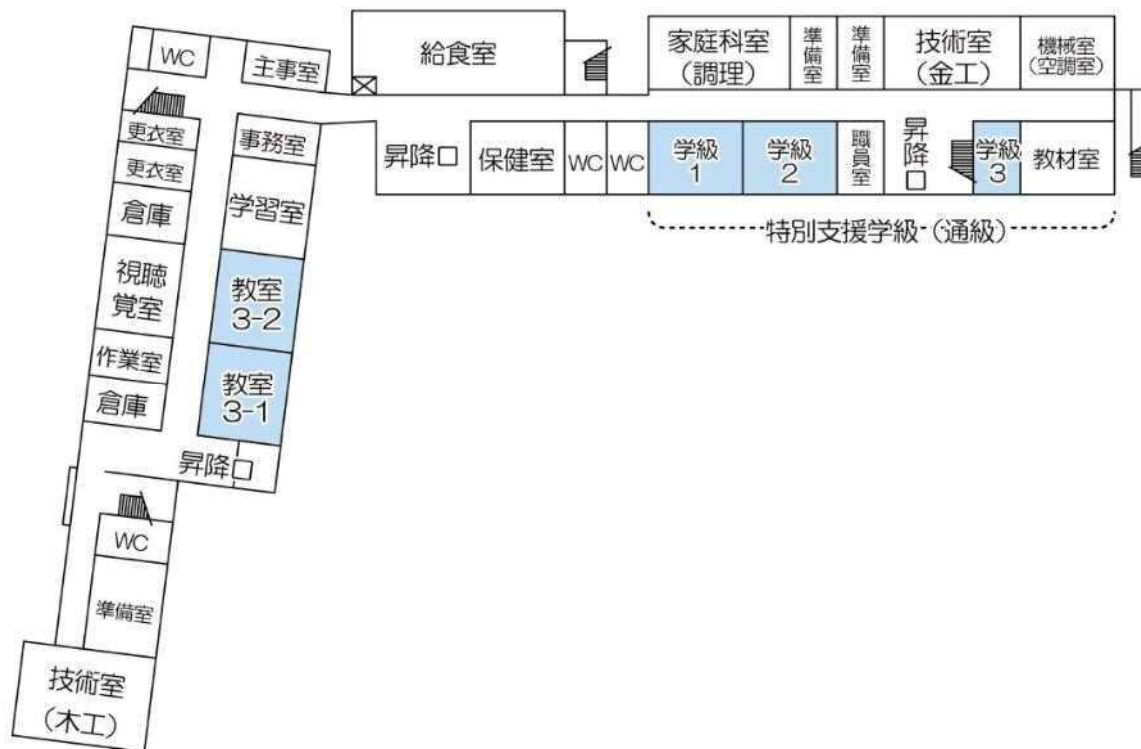
(3) 学校施設の現況

- 校地面積 校舎敷地：8,619.45㎡（運動場面積4,209㎡）、プール敷地：702.00㎡
合計：9,321.45㎡
- 延床面積 校舎棟：4,719.59㎡、体育館棟：2,137.63㎡、プール棟：702㎡
合計：6857.22㎡
- 構造 校舎棟：鉄筋コンクリート造
体育館棟：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
- 接道状況 校舎敷地：東4.3m／南東40.0m／南5.0m／西6.7m／北5.0m
プール敷地：南5.0m／西4.0m
- 建設年度 校舎棟：昭和36～55年度
体育館棟：昭和37年度
プール棟：昭和52年度
- 耐震補強 平成15～16年度

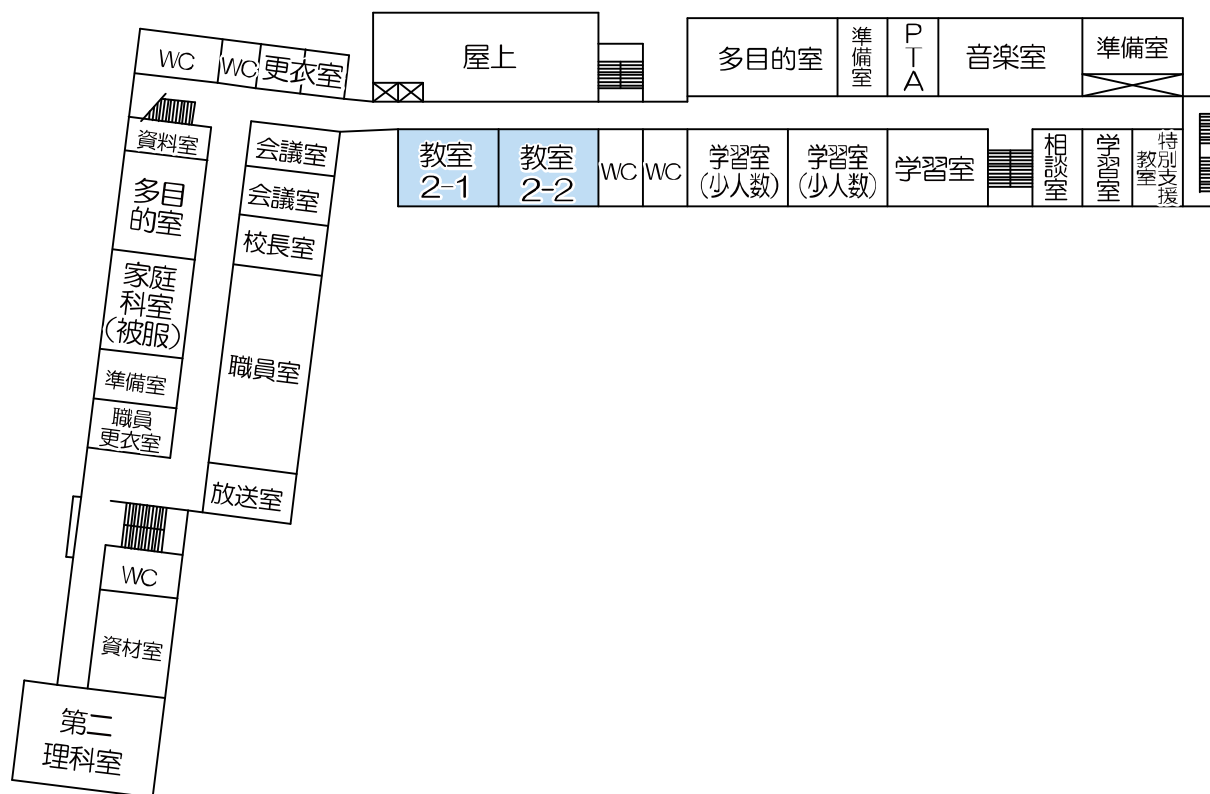
<配置図>



<1階平面図>



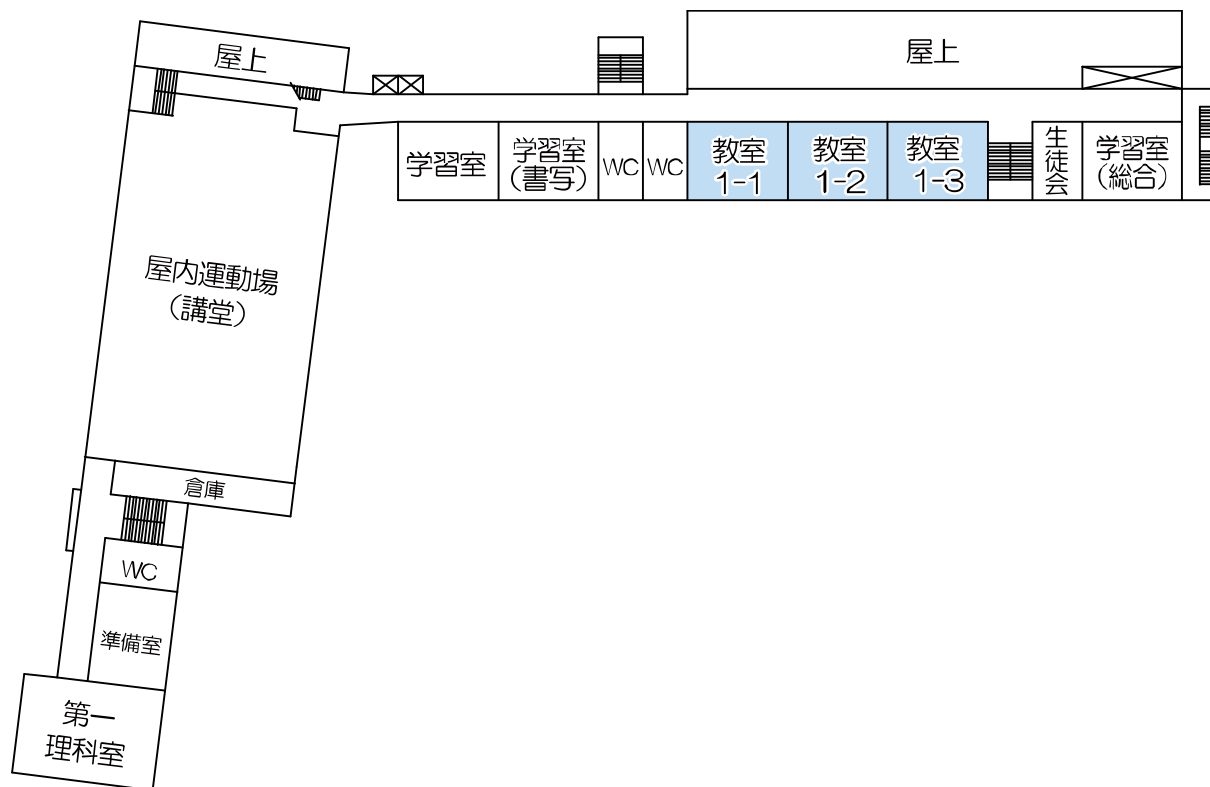
<2階平面図>



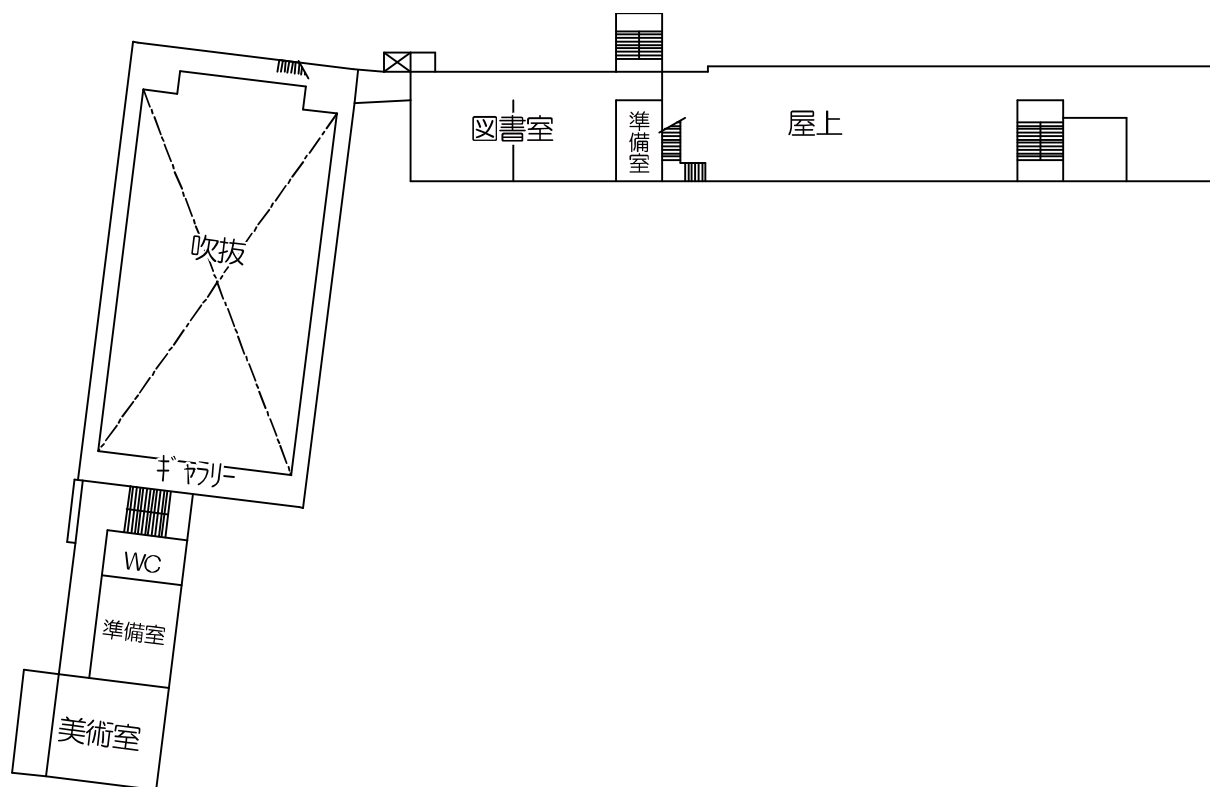
<諸室一覧>

教室	普通教室、特別支援学級(通級)、学習室
特別教室等	技術室(木工)、技術室(金工)、家庭科室(調理)、家庭科室(被覆)、第一理科室、第二理科室、音楽室、美術室、図書室、多目的室、生徒会室、更衣室、教材室、屋内運動場(講堂)

<3階平面図>



<4階平面図>



<諸室一覧>

管理諸室等	校長室、職員室、特別支援職員室、主事室、会議室、事務室、視聴覚室、放送室、職員更衣室、相談室、保健室、給食室、PTA室、WC、倉庫、機械室
-------	---

2. 建替えに係る条件等の整理

(1) 建替えスケジュール

千川中学校は、令和7年度の新校舎竣工に向けた改築工事を令和5年度より予定していましたが、仮校舎を旧真和中学校から旧平和小学校跡地へ変更することに伴い、建替えスケジュールが以下のとおり変更されました。

変更前（仮校舎が旧真和中の場合のスケジュール）

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
仮校舎		設計	改修	仮校舎に通学			
新校舎	考える会	基本設計	実施設計	改築工事			新校舎使用

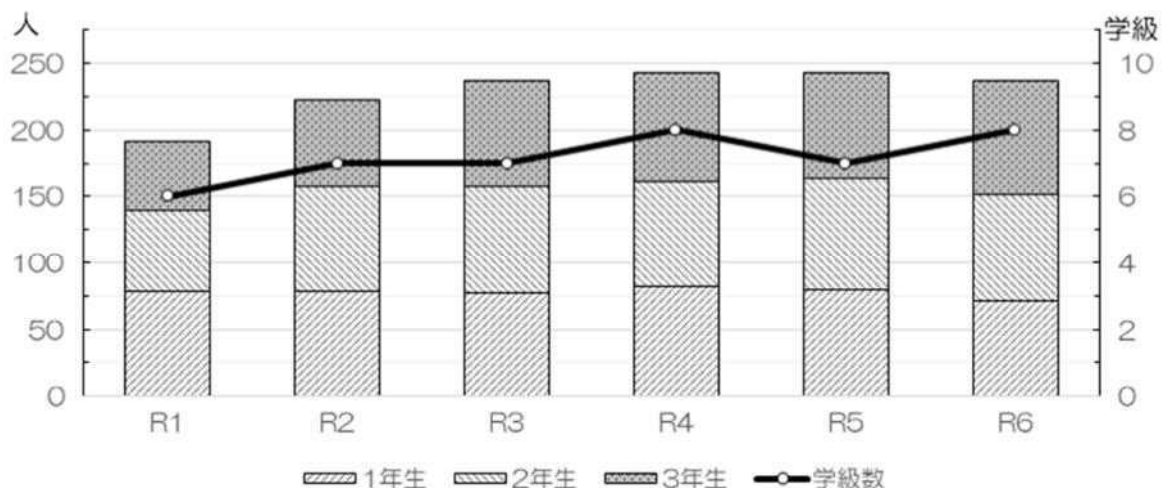
変更後（仮校舎が旧平和小の場合の 最短スケジュール）

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
仮校舎	内容検討	実施設計	仮校舎工事		仮校舎に通学		
新校舎	考える会		基本設計	実施設計	改築工事		新校舎使用

(2) 生徒数と学級数

出典元：令和3年度教育人口等推計（東京都教育庁）

	実数						推計					
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
1年生	78	2	78	3	77	3	82	3	79	2	71	2
2年生	62	2	79	2	81	2	79	2	84	3	81	3
3年生	51	2	65	2	79	2	82	3	80	2	85	3
計	191	6	222	7	237	7	243	8	243	7	237	8



(3) 学校の教育目標と機能

● 校訓

信 ・ 望 ・ 愛

● 教育目標

明日をになう人間性豊かな生徒を育成するために、次の目標を定めています。

深く考え、自ら学ぶ生徒
心あたたかで、礼儀正しい生徒
健康で、たくましい生徒

● 基本方針

- ・ 基本的な生活習慣の定着と集団生活のルール遵守
- ・ 教育水準の継持・向上と基礎的・基本的内容の確実な定着
- ・ 少人数指導等の指導法の工夫とわかる授業の実践
- ・ 人権尊重を基盤とした「道徳の時間」の充実
- ・ 「生きる力」の育成と個性の伸長
- ・ 心身の健康保持増進に努める態度の育成
- ・ 家庭地域・関係諸機関等との連携、生徒の健全育成の促進
- ・ 小・中連携教育の推進、特別支援教育の充実

● 特色ある教育活動

- ・ 毎朝「朝読書の時間」を設定、放課後には学習教室を行うなどして、基礎学力の定着・向上を図る。
※水曜トライアルスクール（漢字検定、英語検定、数学検定への取り組み）
- ・ 豊島区発「SDGs」実現に向け、いつもの学校生活に少し工夫を加えた持続可能な取り組みを推進する。
- ・ これまでの豊島区研究推進協力校の実績をもとに、生徒に防災意識を高めさせ、災害時における役割を考え行動できる生徒の育成に取り組む。
- ・ 防災教育や ISS（インターナショナルセーフスクール）の正式認証の取得に取り組む。
- ・ タブレット PC を中心とした ICT 機器を積極的に活用する。
- ・ 学習情報センターとしての充実を図るため、学校司書を中心に、学校図書館をさらに充実させ、生徒一人一人が主体的に学べる環境を進める。
- ・ 英語教育の充実（外国人講師の活用）
- ・ 数学・英語での少人数による指導。

● 部活動

運動部	文化部
<ul style="list-style-type: none">・ 野球部・ サッカー部・ バスケットボール部・ バドミントン部・ バレーボール部・ 卓球部	<ul style="list-style-type: none">・ 吹奏楽部・ アートクラフト部・ パソコン部・ 書道部

(4) 地域の特徴

● 都市づくりビジョン（都市計画マスタープラン）

- ・地域像：みどりとふれあいを人々が育む閑静なまち
- ・まちづくりの主な視点
- ・安全・安心を実感できるまちづくり
- ・駅や公園を中心とした庶民的で暮らしやすいまちづくり
- ・利便性の高い閑静な住宅地を魅力にしたまちづくり
- ・アトリエ村の面影を感じられるまちづくり
- ・寺社や個性のある公園、低層住宅地のみどりを生かしたまちづくり

● 地域の歴史地図

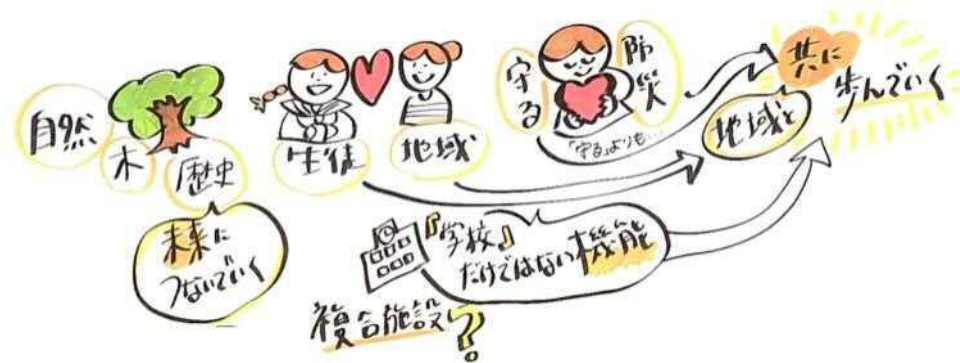


3. 建替え基本構想に係る提言

(1) コンセプト ～私たちの思い～



都市の文化と歴史に包まれて、
 楽しく学び、仲間と集い、
 地域と共に歩いていく 千川中学校



このコンセプトには、大きく2つの趣旨があります。

まず、学校は生徒たちが学ぶ場であることを第一に考えたい、ということです。「誰よりもまず生徒たちにとって最も良い学校にしたい」という想いを前半の部分に込めています。

もう一つは、千川中の、地域とのつながりを大切にする校風をさらに伸ばしていきたい、ということです。

「地域の皆さんから常に温かく見守られていることに感謝し、さらに一歩進んだつながりを持てる学校にしたい」という想いを、後半の部分に込めています。

(2) 基本方針 ～こんな学校にしたい～

1：生徒たちの楽しい居場所となる学校

① 時代に沿った学習環境

- ・ ICT 環境の整備に対応した主体的で対話的な学習が行われる学校にしたい
- ・ 多様性を尊重した学びの場にしたい

② 心身の成長を育む空間

- ・ 学校に通うことが楽しく、明日また友達に会える場所にしたい
- ・ 勉強やスポーツへの向上心を高める環境にしたい
- ・ 物を大切にできる心が育まれる学校にしたい
- ・ コロナ禍の経験を踏まえ、換気をしやすい、密になりにくい等、今までにない要素を取り入れた学校にしたい

③ のびのびと活動できる体育施設

- ・ 開放感のある空間にしたい
- ・ 広い校庭にしたい
- ・ 様々な競技ができる施設にしたい

2：千川中学校らしさが現れた学校

① 地域のシンボルとなる学校

- ・ 生徒会新聞の名前の由来にもなっているタイサンボクを大切にしたい
- ・ 新たに地域のシンボルとなるものが加わった学校としたい
- ・ 自然や四季を感じられる場所としたい
- ・ 道路沿いの樹木はできるだけ残し、緑の環境をつくりたい

② 地域の歴史を反映

- ・ 地域の歴史や景観を受け継いでいることを感じられる学校としたい

3：地域交流が生れる学校

① 伝統的・文化的な活動の場

- ・ホールや廊下はコモンスペースとして文化的活動の発表の場としたい
- ・引き続き地域のお祭りやイベントが開催できる校庭としたい

② 地域に開放できる多様な施設

- ・施設の動線を工夫して、地域交流が生れる学校にしたい
- ・体育館や校庭の開放に対応する更衣室や器具庫などを備えたい
- ・高容積が可能な地域・地区特性を利用して校舎全体を有効活用したい
- ・多様な施設になる場合は、生徒の学習環境に配慮しつつ相乗効果が望めるものとする

4：地域の防災拠点となる学校

① 施設の安全性の確保

- ・防犯設備、防災機能を万全としたい
- ・構造・設備とも災害に強い学校としたい
- ・安全な避難経路を有する学校としたい

② 災害用設備の充実

- ・救援センターとして位置付けられていることから、災害時に活用できる設備を整備したい

③ 避難生活に対応できる機能の確保

- ・避難所開設時は、多様な避難者が安心して避難生活を送れるよう、体育館の機能やトイレの配置など、福祉やバリアフリーの視点に配慮したつくりとしたい

(3) 整備方針 ～こんな風につくりたい～

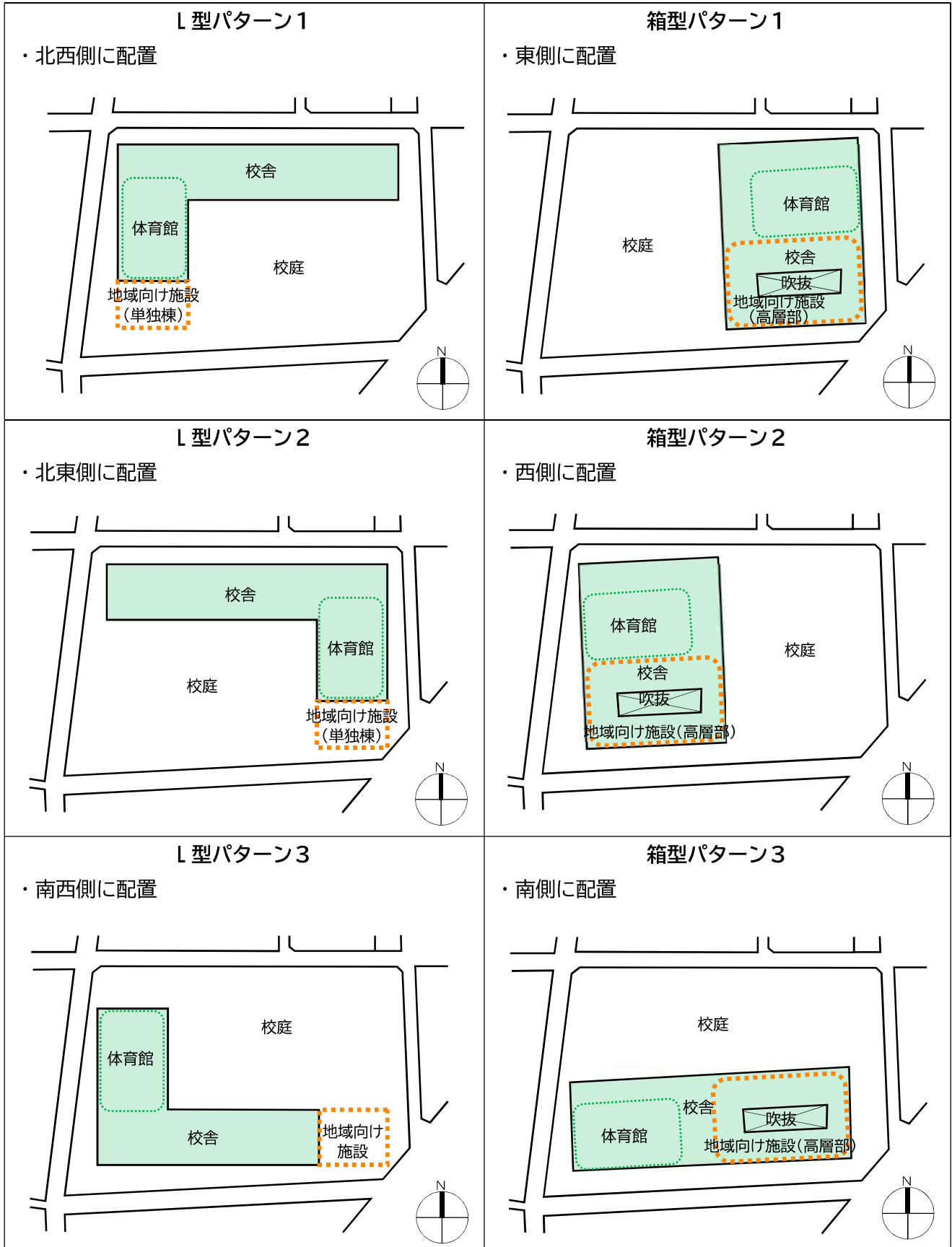
学校全体	設え	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ材には木材を取り入れて温かみのある優しい環境をつくる ・地域の文化や歴史を感じられる校舎にする ・地域のシンボルとなるものを表現する (タイサンボク、千川上水、農地から都市化への歴史)
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・フレキシブルに使用できる可変可能な空間にする ・開放感を感じられる空間をつくる ・地域との交流が生まれる学校とする ・エレベーター設置を含みバリアフリーの建物とする ・2重サッシにするなど外部からの防音性能に配慮する ・防犯カメラの設置など防犯対策に配慮する ・防災機能を充実させる(防災備蓄倉庫、防災資機材倉庫、非常用発電設備、かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸の設置、プールの水利用、雨水流出抑制など)
教室	普通教室	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に集中できるつくりとする ・楽しい居場所となるようなつくりとする ・生徒のONとOFFの切り替えに対応できる環境とする ・廊下との繋がりがあつくりなど廊下との仕切の意匠に配慮する (生徒数の変化や、生徒同士のつながりに配慮) ・部活道具等の荷物置き場を確保する ・GIGAスクール構想やオンライン教育等の教育環境の変化に対応する (ICT環境の充実、プロジェクター、大きな黒板、資料の充実等)
	特別支援教室	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育が受けられる環境を整備する ・出入の動線に配慮する ・個別指導スペースをつくる ・体を動かせるオープンスペースをつくる
	特別教室	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室との効率的な動線に配慮する ・効率的な収納スペースをつくる
諸室・共用部	学習情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に気軽に集まれる空間にする ・生徒が利用しやすいカジュアルでオシャレな空間とする ・学年・学級の壁なく教えあう環境をつくる ・本に触れる機会が増えるように入りやすくする ・資料が充実しており、本を選ぶ楽しみが増える場所とする ・学習スペースが充実している ・リラックスできる空間をつくる ・地域の人利用について検討する ・学年単位でも集まれるような広い空間を設ける ・吹き抜け等を活かした開放的な空間とする
	管理諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の職場環境としても過ごしやすい環境とする
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・綺麗で、居心地良い場所とする ・感染症対策を考慮する
	廊下	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が集う場所や落ち着ける場所をつくる ・壁全面を掲示板として利用できるようにする

諸室・共用部	ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・他のクラスや学年間が交流できる場所とする ・クラスや部活の発表会ができる空間とする ・ミニ展示ホールとして利用できる
	集まれる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室や部室をつくる ・開かれた空間で自由に使えるスペースをつくる ・部活や地域活動で利用できる音楽スタジオを検討する ・リラックスできる場所をつくる ・眺めの良い場所に生徒が交流する場を配置する ・雨でも開放感がある居場所をつくる ・草花を育てられる場所をつくる
体育施設等	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく開放的な空間とする ・高く、広い空間とする ・複数の部活動を同時にできる場所とする ・電動式バスケットゴールを検討する ・出入り口は多くつくる ・避難所の利用に配慮し1階に配置する ・屋外との連携が図りやすい構成とする
	プール	<ul style="list-style-type: none"> ・使いやすく安全な位置に配置する（飛び地には建設しない） ・体育館の上など、開放感があるものとする（ただし、外からの視線や日差しにも配慮する） ・日よけ等、暑さ対策に配慮する ・屋根付きの温水プールを検討する ・防災水利とする
屋外	屋外、校庭	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の部活動を同時にできる場所とする ・野球ができる広さの校庭とする ・屋根のある運動スペースをつくる ・盆踊り等で利用できる ・地域との接点が生まれる距離感を保つ ・自然に親しむことができる場所をつくる ・緑豊かな環境とする ・門から昇降口までの動線を明確にする
環境への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の自然環境や雰囲気を継承する ・既存樹木の活用、新規樹木、屋上緑化、壁面緑化等、敷地内の緑化の推進を図る ・生徒たちの環境教育の場としての機能（太陽光発電、雨水利用、屋上緑化等）を整備する ・建物の断熱化や日射しを遮る工夫を施す
土地の有効活用ほか		<ul style="list-style-type: none"> ・飛び地や余剰容積など、土地の有効活用を検討する ・余剰教室等、地域向け施設としての活用を検討する ・高齢者、児童、青少年施設等の併設を検討する ・地域の景観に配慮する

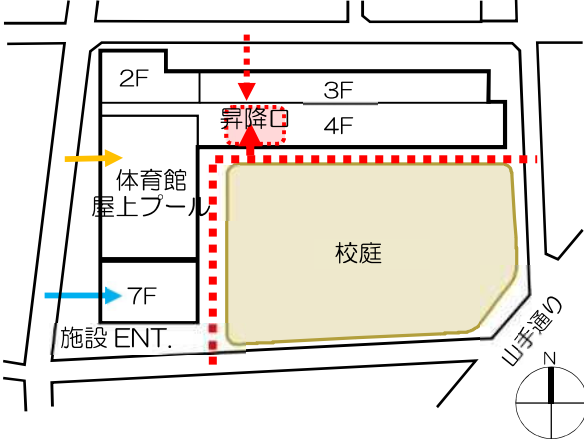
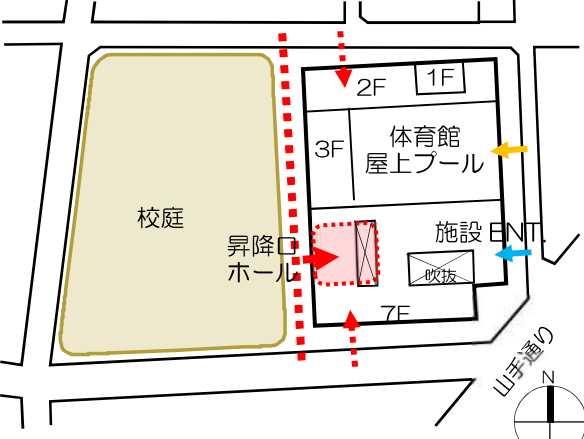
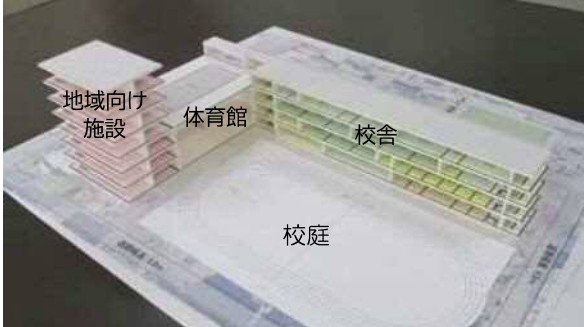

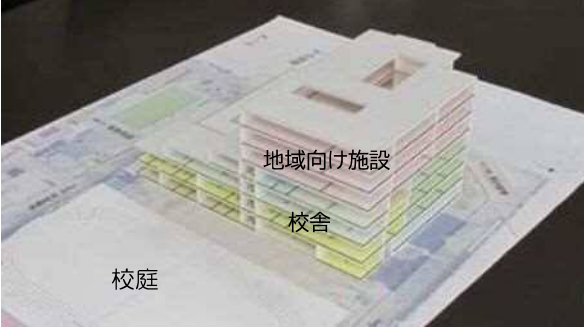

(4) 配置計画の検討

①校舎と運動場の配置パターン

校舎配置は以下のような配置パターンが考えられる。基本パターンは現況配置のL型パターンとひとつの塊にまとめる箱型パターンである。



②典型モデルの比較

型	L型北側配置案	箱型東側配置案
配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の配置と同タイプの配置計画 ・校庭は南側配置で既存樹木の存置が可能 ・体育館は1階、プールは体育館屋上に設置 ・地域向け施設は体育館の南側に単独棟として連結配置  <p>配置計画のイメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東側に校舎、西側に校庭を配置 ・中央部に採光と通風のための吹抜けを設置 ・体育館は1階、プールは体育館屋上に設置 ・校舎の南側は高度利用し、5階以上の階に福祉施設等を併設（1～4階に施設動線確保）  <p>配置計画のイメージ</p>
模型写真	 <p>南側から北西方向を望む</p>  <p>北側から南東方向を望む</p> <p>学校延べ面積：約 7,000 m² (4階建て) 施設延べ面積：約 2,700 m² (7階建て)</p>	 <p>南側から北東方向を望む</p>  <p>北側から南西方向を望む</p> <p>学校延べ面積：約 7,600 m² (1～4階) 施設延べ面積：約 3,700 m² (5～7階)</p>
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域向け施設の独立性が高いので管理区分及び動線計画が明確にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四周の道路空間が明るくなる。 ・変化のある校舎の空間構成が可能
短所課題	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な平面計画となりがちで、開放的な雰囲気や空間の面白みの演出に工夫を要する。 ・プールは多少日陰になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域向け施設との管理区分及び動線区分に工夫を要する。 ・プールは日陰になる。

③配置計画のバリエーション

型	A 案	B 案
配置計画	<p>Diagram of Case A site plan. It shows a school layout with a large courtyard (校庭) on the left. The main building (校舎) is on the right, containing a gymnasium (体育館), a pool (プール) on the roof (屋上), a pilot area (ピロティ), and a courtyard (中庭). There are regional facilities (地域開放施設) at the top and regional facilities for high-rise buildings (地域向け施設(高層部)) at the bottom. A north arrow is present.</p>	<p>Diagram of Case B site plan. It features a flying land area (飛び地(学校所有地)) at the top. The main building (校舎) includes a gymnasium (体育館), a pool (プール) on the roof (屋上), and a windbreak (吹抜). Regional facilities for high-rise buildings (地域向け施設(高層部)) are at the bottom. A north arrow is present.</p>
模型写真	<p>3D architectural model of Case A, showing the building volumes and courtyard in a perspective view.</p>	<p>3D architectural model of Case B, showing the building volumes and flying land area in a perspective view.</p>
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・西側の道路空間が明るくなる ・校庭が広く取れる ・動線がコンパクトに収まる ・校庭と体育館の行き来がしやすくなる ・変化のある校舎の空間構成が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・西側の道路空間が明るくなる ・校庭がより広く取れる ・動線がコンパクトに収まる ・変化のある校舎の空間構成が可能
短所・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東側の日影を抑える工夫が課題 ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線区分に工夫を要する ・飛び地との接続に課題（空中歩廊等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東側の日影を抑える工夫が課題 ・上下階移動が比較的多くなる ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線区分に工夫を要する ・プールが一部日影になる ・飛び地の活用が課題

型	C案	D案
配置計画	<p>飛び地 (学校所有地)</p> <p>体育館 屋上 プール</p> <p>校舎</p> <p>校庭</p> <p>地域向け 施設 (高層部)</p> <p>入口</p> <p>N</p>	<p>飛び地 (学校所有地)</p> <p>校庭</p> <p>体育館 屋上 プール</p> <p>校舎</p> <p>地域向け 施設</p> <p>入口</p> <p>N</p>
模型写真		
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・西側の道路空間が明るくなる ・やや不整形だが、校庭が広く取れる ・校庭と体育館の行き来がしやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線計画を明確にできる ・校庭と体育館の行き来がしやすくなる ・北側への日影等の影響が少なくなる
短所・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東側の日影を抑える工夫が課題 ・単純な平面計画となりがちで、開放的な雰囲気や空間の面白みの演出に工夫を要する ・校舎の端から端までの動線が長くなる ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線区分に工夫を要する ・飛び地の活用が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・東側の日影を抑える工夫が課題 ・単純な平面計画となりがちで、開放的な雰囲気や空間の面白みの演出に工夫を要する ・校舎の端から端までの動線が長くなる ・校庭が狭く、かつ一部日影になる ・プールが一部日影になる ・飛び地の活用が課題